



Kenji Iwamizu

岩水建二

株式会社豊里金属工業 専務取締役 工場長



あらゆる開発者の夢の実現に貢献したい

ものづくりのソムリエ

豊里金属工業では、お客様の新製品開発段階(量産にとりかかる前)の試作品(プロトタイプ)を、積層金型などを用いた板金加工により、精密に製作している。同業他社に何社もあたり、どこにもできなかったものを、わらをもつかむ思いで持ち込まれることも多い。

「絶対にできない、どんなに難しい加工でも、材料や図面などに工夫を加え、どうにかしてできる方法をご提案できるよう、ありとあらゆる方法を考えます。ものづくりのソムリエの気持ちです(笑)。お客様からいただく設計図には、開発者の夢が込められています。まず弊社にいただく試作品が完成しなければ、そこで夢は途絶えてしまいます。できる方法を精一杯考え、ご提案し、少しでもお客様の夢の実現の力になりたい。」と力強く語る。その確かな技術が評判を呼び、同社にはあらゆる業界から次々と新たな難しい仕事の依頼が舞い込んでいる。

お客様の求める先を見据える

「難しい仕事をするためには、技術者の高い技能と、高性能の設備の両方が必要です。お客様のニーズは日々多様化しているので、それにお応えできる、またその先を見据えた新しい設備の導入が重要です。」工場長兼専務取締役を務める岩水さんは、工場長として現場で直接感じ取った感覚を最大限に生かし、新たな設備の導入を進めている。豊里金属工業には、高性能の三次元レーザー加工機や1,000トン油圧プレス機、ワイヤー放電加



工機、マシニングなど、お客様からのあらゆる要望に対応できる、岩水さんが選び抜いた大型設備が並んでいる。

こだわりが光る営業力

「一度お会いした方には、絶対に覚えておいてもらいたい。」展示会での同社のブースには、岩水さんの技術を駆使して作られた自信作がところ狭しとならば、展示会では営業の最前線に立ち、「この髪型も、少しでもお客様に覚えてもらいたいからなんです。」と自身の髪型までも営業ツールにして、自らの技術力をPRする営業マンにもなる。自作のこだわりの名刺入れにも、板金技術の高さが光る。



作りたいものが作れる楽しさを知ってほしい

『大阪テクノマスター』の認定が決まるとすぐに、ロゴマークである『OTM』マークの精巧なピンバッジを自作し、他の認定者の方に手渡した。

「難しいことを解決できたときに感謝されることが一番嬉しい。その嬉しさを知っているからこそ、壁を乗り越えることを楽しんでいるのかもしれない。壁を乗り越える度に、作りたいものがどんどん作れるようになると、毎日が楽しい。」
「材料から、ものを作る楽しさを知っている人が少ない。自分がものづくりを楽しんでいる姿を見て、ものづくりが“おもしろそう”と思ってもらえたら嬉しい。」学生時代、技術者の講話に感動し、ものづくりの道を志すことを決めたとご自身のような若者を増やしたいと、これからのものづくりを担う若者への思いは熱い。

Profile 「なんでもつくる」をモットーに、板金加工を極める

「進化型ハイブリット金型」という独自の金型を生み出し、試作精密板金加工に特化する株式会社豊里金属工業で、専務取締役兼工場長を務める岩水建二さん。大小さまざまな機械を自在に使いこなし、豊富な経験と豊かな発想力を生かした板金加工技術で、難度の高い依頼にも、独自の提案力を生かし、不可能を可能にする優れた技能者である。これまで、数多くの開発者の試作の実現に貢献し、常にお客様の求める一歩先の技術をめざすという高い向上心を持ち、高度な要求に応え続けている。

所属企業 株式会社豊里金属工業

〒533-0013 大阪市東淀川区豊里4丁目16-24 TEL:06-6328-9122 FAX:06-6320-1315

HP: <http://www.toyosatokinzoku.com>



大阪テクノマスターとは…大阪市内のものづくり企業で活躍する“ものづくり”のスペシャリスト。

問合せ先 ▶ 大阪市 経済戦略局産業振興部 〒559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC ビル オズ棟南館 4 階 TEL:06-6615-3761 FAX:06-6614-0190